

山 ゆ り

3-4 月号 No366 2015 年 3 月 1 日

初号発行:1972 年 12 月 25 日

山ゆりの会(尾瀬の自然を守る山ゆりの会)

年会費 1000 円 (郵便口座 00230-2-42601)

〒246-0025 横浜市瀬谷区阿久和西 2-25-16 草野正昭

Tel/Fax:045-364-6515 メール:VZM03024@nifty.com

URL : <http://homepage3.nifty.com/yamayuli/>



■ 2016 年度スタート

1 月 30 日恒例の総会が中華街の「東園」で開かれました。当日の出席者は、稲本 遠藤 大内 小野寺 加藤(英) 香取 河野 草野 黒羽 島 菅野 曾根 田村 豊留 西村 糠沢(国) 糠沢(留) 長谷川 細谷 松田 和田の 21 名でした。2015 年度活動報告、会計報告 2016 年度活動計画などを決めて無事終了しました。

■2016 年度ひとこと集

- 山崎啓子 1 年は早過ぎです。またまた去年は「山ゆり」読者になってしまいました。それでもまた参加出来る日を夢見て継続します。皆様の活躍を楽しみにしております。
- 岩永和美 山行に参加できない会員ですみません。会報を読んで楽しんでます。皆様の元気な写真に励まされており私も頑張ります。
- 西村文夫 昨年 11 月に膝を痛めてまだ完治せず、知力・体力共劣化が激しく、皆さんについていくのが難しくなりました。然し今年も大いに参加し頑張りたいという気持ちはありますのでよろしく願います。
- 小野寺美智子 家人の風邪をうつされることもなく元気に新年を迎えられました。これもひよんなきっかけから山ゆりの会に入れていただき、雨でも参加して足腰を鍛えたおかげかなと思っています。今年は全回参加を狙えるかな?なんて年



頭何で夢は大きく持っていようと思っています。

●加藤英子 介護生活覚悟となりました。だから一層ワイワイ言いながら山歩きたいのです。丘あるきでも。なんとか時間をやりくりして山行に参加したいと思っています。

●黒羽春朗 今年こそは山行きに参加できるように頑張りたいと思います。

●松田雄二 発足から今年で 44 年目(?)を迎える「山ゆりの会」。おめでとうございます。昨年亡くなった手塚さんに偶然山で会い、入会を誘われてから 20 年になりました。これからも、[出来るだけ自然と親しんで、病気を近寄せない]をモットーに、山歩きを楽しみたいです。皆さん、今年もよろしくお願ひします。

●稲本なお子 山歩きでもウォーキングでも月 1 回の予定が楽しみです。春、夏、秋、冬日常の生活では感じられない空気を吸いに外へ。沢山歩きたいと思います。

●曾根弘子 山ゆり参加を優先にしたいと思っています。北穂にぜひ行きたいです。

●島 秀子 一年あつという間に過ぎてしまうので、外遊びを計画し、行動をします。人生楽しもう！を目標に、十分楽しんでいますが。

●河野正典 皆さんに忘れられないように、自らの健康の為に、今年も最後尾をテクテク歩きたい。そして日本を「戦争する国」にしないため、できることから行動に参加したいです。

●糠沢国雄 「山ゆり」初版が 1972 年、これまで続けられてこられたのはヤマを愛する気持ちが強いからでしょう。これからも皆様の活躍を祈念します。

●香取 恵 昨年 4 月に転勤で仙台に移り住み、山がググッと近くなったのになかなか登りに行けませんでした。今年は暖かくなったら出来るだけ色々な山へ登ってみたいと思います。山ゆりの計画にいらしてもらえないかなー。

●細谷 薫 今年も雨に負けず参加します。

●長谷川芳江 昨年はウォーキング 1 回、山行 1 回でした。例会は出席していますが、山行は心は動いても無理だと思い迷っています。3月に母を白寿で見送り大きな役目を果たした思ひです。今年活動的になれる体を作りウォーキングを中心に参加するつもりです。

●田村 清 とうとう大台(傘寿!)になってしまいました。そろそろ里山にリンクを下げて皆さんに迷惑をかけないようにしますかね?

●福島一雄 昨年も山行きには参加していませんが、毎回送られてくる「山ゆり」のレポートは楽しみにして読んでいます。今年ぜひ参加したいと思っています。

●河又良子 最近、健康で歩けることがどんなに幸せな事かと感じています。自分が元気でも家族が具合が悪くなったりして、看病に時間を費やすことが多くなりました。時間を見つけて歩き回りたいと思っています。今年もよろしく。

●加藤良昭 昨年は、小海線沿線の天狗山、久しぶりの尾瀬といずれも天候に恵まれた山行に参加し満足でした。体力を維持しながら、今年もよろしく願いします。

●小西愛子 会報楽しく読まさせて頂いております。皆様のご健康を祈念いたします。

●浜田ふき子 新宴会は仕事が入ってしまい残念ですが欠席となってしまいました。今年も時間のある限り会に参加したと思っています。

●和田悦子 今年も山に娯楽に贅沢三昧ができるよう、健康で元気に過ごせるように頑張っています。皆さんよろしく願います。

●若月蓉子 昨年は膝の手術をしましたが、無事、山にスキーに復帰することが出来感謝です。

●稲田伸子 昨年の山行には残念乍ら参加できませんでした。第二土曜の翌日の山行が多いので私事の学習会と重なるためです。第一とか第四の日曜にウォーキングを計画してもらえたらと勝手なことを考える正月でした。今年もよろしく願います。

●菅野誠子 ここ数年山行に不参加ですが、山行報告で机上ハイキングを楽しんでいます。参加したい思いは強いのですが体力不足です。いつか奇跡が起きて歩き通せる体力の復活を信じ会員の継続を希望します。今年もよろしく願います。

●豊留幸代 年には勝てない年齢になりました。今年はおぼちおぼち行ける範囲で頑張りたいと思いますので、よろしく願います。

●田中久美子 会報を見たときは歩いてみたいと思いつつ、踏み出せません。皆さんには久しくお会いしていませんが会報の写真を見て懐かしく思います。

●橋本信子 40代に入会以来数々の山行に参加させていただき、皆様と寝食を共にした山行も思いで深いものがあります。来年は傘寿を迎える年となり、動から静への生活となってきています。最近は茶道と和服の仕立てなどで楽しんでおり、山行はもとより例会の参加も無しの状態ですので退会させていただきます。会の発展と皆様のご健勝をお祈りします。

●上野敏子 名前だけの会員になって申し訳なく、また参加出来ず残念に思っています。山行に参加していたころは本当にお世話になりました。長いことお世話になりましたが今回をもって退会させて頂きたく、本当に今までのことに感謝しています。

●知久美子 長い間楽しい山行の会報を頂きありがとうございます。残念ですが、年々参加することが難しくなっています。今回にて退会させていただきます。

●越村節子 今年こそはと思いつながら何年も参加できていません。体力も落ちてきました。残念ですが退会致します。お世話になりました。

●松尾京子 山ゆりの会員といっても名ばかりの会員、やっと退会しようという気になりました。初めて参加した尾瀬から何年になるのでしょうか。長い間大変お世話になりました。自分なりの山行はおぼちおぼちしていこうと思っています。

2016 年度予定

月	実施日	目的地・コース	難易度	参加者
1月	1/17	・景信山ー南高尾山稜	★	12
2月	2/14	・多摩丘陵：多摩自然遊歩道-	㊦	
3月	3/20	・大山古道 県道 701	㊦	
4月	4/17	・石ざれ山（ギフチョウ）	★	
5月	5/1-2	・特別山行 未定		
5月	5/15	・マイクロバスで行く 長者が岳ー白糸の滝	★	
6月	6/12	・奥武蔵 根の権現-竹寺	★	
7月	7/10	・埼玉行田 古代ハスとさきたま古墳群	㊦	
8月		お休み		
9月	9/11	・道志 今倉山	★	
10月	9/30-10/1	・紅葉の尾瀬 （御池-裏燧コース）	★	
10月	10/16	・箱根旧街道	㊦	
11月	11/13	・多摩丘陵	㊦	
12月	12/11	・忘年山行	㊦	

■ 3月：3月20日(日) 大山古道ー不動峠

㊦

- ・集合：朝8時00分 小田急線・秦野駅 蓑毛行き：8:18 乗車予定
- ・持ち物：昼食、雨具など

■ 4月：4月17日(日) 藤野・石裂山

いしざれやま

★

神奈川県唯一のギフチョウの生息地、晴れていればきっと出会えるー。

- ・集合：JR 中央線 藤野駅 朝8時33分（八王子発8:04 発に乗車ください）
- ・申込：4/10まで和田さんへ 303-6380 かメール（藤野からタクシー利用につき）
- ・持ち物：昼食、雨具、温泉グッズ（時間があれば、やまなみ温泉へ）

■ 例会の予定

- ・3月15日(火)：11月例会
- ・4月19日(火)：12月例会

あとがき ・昨年4月福井地裁が、「原子力規制委員会の規制基準に適合しても、安全性は確保できない」「10年足らずの間に各地の原発で5回にわたって想定を超える地震が起きたのに、高浜原発では起きないというのは楽観的な見通しに過ぎない」「新しい規制基準は緩やか過ぎ」などと指摘し、高浜原発の再稼働を禁じる判決を出した。12月、

同じ福井地裁は関西電力の異議申し立てを認め再稼働を禁じた前判決を取り消した。関電はこの判決を待っていたかのように1/29に再稼働。これも安倍政権のやり口か。・通常国会開幕、首相の憲法改正発言がヒートアップしている。夏の参院選まで5か月、自公与党に三分の二を与えてはならない。・甘利大臣「口利き、斡旋利得」の疑惑で辞任、大臣辞任の美学で内閣支持率増、国民は舐められている。

- ・限界の集落後に鳥帰る

【K】